

# 議会だより

# あまが丘



令和3年度 議会新体制決まる	2
一般質問	10~18
「8050問題の本町の認識は」	
「ヤングケアラー 認知度を高める取り組みを」	
「町内企業と連携し、まちの課題解決を」 ほか	
令和2年度 政務活動費収支報告	19



大口町議会  
ホームページ

No.229

令和3年7月21日

発行：愛知県大口町議会

# 令和3年度

## 議会新体制決まる

令和3年5月13日に臨時会を開催し、正副議長をはじめ、各常任委員会委員等の任期満了に伴う新体制を決定しました。

(正副議長は申し合わせにより1年、常任委員会は条例により2年の任期となっています。)

### 議長あいさつ

#### 丹羽 勉(4期目)

所属常任委員会

総務建設常任委員会  
文教福祉常任委員会



この度の議長選挙において、議員の皆さま方のご推挙により、議長の重責を担わせていただくことになりました。

3回目の議長就任ということもあり、大変、身の引き締まる思いです。

現在、全世界で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症により、本町も例外なくその影響を受け、住民の皆さま方も大変不安な生活を送ることを強いられていることと存じます。

議会としても皆さま方の不安を軽減すべく、議事機関として町執行部と協力し、この脅威に全力で立ち向かう所存です。

さて、議会に対する皆さま方のニーズは、議員定数の削減、議員報酬の

引き下げをはじめとし、議会の透明性など各般にわたると思えます。この種の問題は、その時々状況により検討されるべきものと考えております。

議員定数・報酬の検討については、前議長から諮問がなされ、現在、特別委員会で検討されているところと見られます。特別委員会から答申を受けた際には、速やかにその結果を住民の皆さま方にご報告したいと考えています。

また、議会の透明性については、大口町議会基本条例に基づいて議会の役割を果たすべく、住民の皆さま方の声に耳を傾けるとともに説明責任を果たし、開かれた議会、見える議会を目指します。新型コロナウイルスの流行が落ち着いた状況であれば、議会報告会、意見交換会の開催を考えています。

皆さま方には、さらなるご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のあいさつとさせていただきます。

### 副議長あいさつ

#### 江幡満世志(2期目)

所属常任委員会

総務建設常任委員会  
議会広聴広報常任委員会



来年4月に60周年を迎える歴史ある大口町議会の副議長という大任を拝しましたこと、身に余る光栄でございます。

同時に、その責任の重さを痛感いたしております。

議長をお支えし、円滑な議会運営と開かれた議会への改革など、町民の方々からの負託にこたえるべく、人事を尽くし、同僚の議員とともに取り

組んでいく所存です。

皆さま方には、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますように、よろしくお願い申し上げます。

甚だ簡単ではございますが、就任のあいさつとさせていただきます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

# 常任委員会等構成

(**総務**建設常任、**文教**福祉常任、議会**広聴**広報常任、議会**運営**、議員定数・報酬検討**特別**※)

議員氏名	総務	文教	広聴	運営	特別	議員氏名	総務	文教	広聴	運営	特別
吉田 正 		○		○	○	佐名かよ子 		○	○		
近藤時男 		○				江口昌史 	副委員長		○	○	
船戸光夫 		○	副委員長			酒井正宗 	○				○
岡 孝夫 	○		委員長	副委員長	○	大竹伸一 		副委員長	○		
伊藤 浩 		委員長		○	○	丹羽 孝 	委員長		○		副委員長
齊木一三 	○			○	委員長	倉知敏美 		○		委員長	

詳細は町ホームページをご覧ください。

町ホームページ>議会>議員紹介

<https://www.town.oguchi.lg.jp/4708.htm>

または、「大口町議会議員」で検索!



## 議会選出監査委員

岡孝夫議員を監査委員に選出しました。

## 一部事務組合議会等議員

各一部事務組合議会等議員に本町議会から選出した議員は次のとおりです。

### 丹羽広域事務組合

佐名かよ子・江口昌史  
船戸光夫・伊藤 浩  
倉知敏美

### 江南丹羽環境管理組合

吉田 正・大竹伸一  
齊木一三

### 愛北広域事務組合

近藤時男・酒井正宗  
丹羽 孝

### 尾張水害予防組合会

船戸光夫

### 尾張北部環境組合

吉田 正・丹羽 孝  
倉知敏美

### 後期高齢者医療広域連合

江幡満世志

## 各種委員会等委員

各種委員会等の委員に選出した議員は次のとおりです。

### 地域交通推進会議

近藤時男・齊木一三

### 保育所運営委員会

佐名かよ子・酒井正宗  
倉知敏美

### 国保運営協議会

佐名かよ子・江口昌史  
大竹伸一

### 都市計画審議会

吉田 正・近藤時男  
岡 孝夫・大竹伸一  
齊木一三

### 学校給食センター 運営委員会

近藤時男・船戸光夫

### 青少年問題協議会

伊藤 浩

※6月定例会にて、議  
会改革特別委員会の  
名称を議員定数・報  
酬検討特別委員会に  
変更しました。

# 6月定例会の概要

6月定例会を6月2日から23日までの22日間の会期で開催しました。

○町提出(10議案、1諮問) いずれも全会一致

・議案

(仮称)大口北防災拠点施設改修工事の請負契約について 【可決】

大口町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について 【可決】

大口町税条例等の一部改正について 【可決】

大口町学習等共同利用施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について 【可決】

大口町手数料条例の一部改正について 【可決】

令和3年度大口町一般会計補正予算(第2号) 【可決】

令和3年度大口町次世代育成事業特別会計補正予算(第1号) 【可決】

大口町道路線の認定について 【可決】

固定資産評価審査委員会委員の選任について 【同意】

大口町一般会計補正予算(第3号) 【可決】

・諮問

諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 【適任と答申】

○意見書提出 議員提出の1議案を全会一致で可決し国と愛知県へ意見書を提出することを決定しました。

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書

○一般質問 9人の議員が町政全般にわたり質問しました。(10～18ページをご覧ください)

なお、今定例会では新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、書面により実施しました。

○請願(3件) 審査の結果、いずれの請願も継続審査とすることに決定しました。

## 質疑 あれこれ

本会議での議案質疑及び総務建設、文教福祉の各常任委員会での主な質疑を掲載します。

## 条例の改正

### 税条例の一部改正

地方税法の一部改正で、医療費控除の特例の延長、扶養親族の見直し、固定資産税の特例措置導入について改正

**問** 固定資産税の「わがまち特例」は自治体が自主的に判断して条例で決めるものだが、対象資産はどんなものがあるか。

**答** 本町では、再生可能エネルギー、先端設備、サービス付き高齢者向け住宅、中小企業の経営力向上設備等を定めている。

# 補正予算

## 一般会計（第2号）

**問** セルフメディケーション税制は、所得額により制度の恩恵にあずからない人はどの程度いるか。

**答** この制度は購入した対象医薬品の合計金額が1万2千円を超えた部分が控除対象になり、医療費控除の場合と比較して選択できるようになってくる。

**問** 健診等の一定の予防の取組みをすれば、所得割が課税されている方は恩恵を受けられると考えている。

**答** この制度は購入した対象医薬品の合計金額が1万2千円を超えた部分が控除対象になり、医療費控除の場合と比較して選択できるようになってくる。

**問** 新型コロナウイルスの接種費用は無償だが、副反応で発熱した場合、その解熱剤購入費はどちらの控除の対象になるのか。

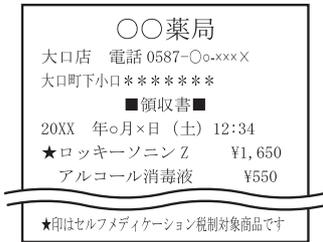
**答** セルフメディケーションと医療費控除のどちらの対象にもなるので、申告される方の状況で判断していただければよい。

**問** 予防のため自費でPCR検査を行った場合も控除対象になるのか。

**答** 控除対象にならない。

**問** 大手薬局チェーンのレシートでセルフメディケーション対象医薬品の表示誤りがたびたびある。誤ったレシートを基に確定申告を行った場合、修正申告は必要か。

**答** 修正申告は必要。



領収書に控除の対象であることが記載されています

**問** 地域防犯対策事業で設置するポール付防犯灯はリース又は購入のどちらか。

**答** リースではなく、購入。

**問** 町道役場前線にコミユニティバスの停留スペースを設けるとの説明があったが、役場前の停留所は、現在の交番の跡地に移設する予定になっただけか。

**答** 当初はそのような予定だったが、その後、役場前の公園整備や、町道小口線と役場前線の道路整備事業の進捗が明らかになったことにより、バス停の設置場所を再考した。

**問** 現在の交番跡地はどのように利用する考えか。

**答** 庁舎管理担当課が中心となり、全庁的な視点で検討していく。



交番が大中の隣に移転するため跡地利用を検討

**問** 本町の魅力を広く発信していくためにシティプロモーション用のウェブサイトを立て上げるといったことだが、どういったものを作成するのか。

**答** 今までの活動や、五条川と桜、産業と企業等の魅力をカテゴリーごとに発信していく予定。今後、新たな情報も随時追加し、本町の魅力の情報を増やしていきたいと考えている。

**問** 今年の3月に公表されたプロモーション戦略・第2期アクションプランでは、冊子等を作り町内企業の魅力を発信するとしているが、今後は、ウェブサイトを中心にそれを行うのか。

**答** ウェブサイトは容易に追加・更新ができ、多くの方に見てもらえるという点で選択した。しかし、今後、様々な事業を進める中で、冊子のほうがいい場合もあるかもしれないので、それぞれの特徴、事業の内容、情報を発信する対象者のことを考えながら検討していきたい。

**問** コロナワクチン接種予約の現状は把握しているのか。また、今後の体制の問題はどのように考えているか。

**答** 65歳から80歳未満の方でコールセンターへ予約が繋がらないこともあり、窓口での受付を始めた。2回目接種の予約では集団が個別で事務手続きの時期が異なる等の理由により、予約に時差がある。

**問** 指定管理者休業補償は、町外利用者の制限等に対する減収分にきちんと対応しているのか。

**答** 憩いの四季はコロナ禍を前提に収支計画を立てて契約をしており、補償が必要な状況ではない。生涯学習施設で町外利用者の制限を設けたものは町の直営施設であり、指定管理者の収入に影響はない。午後8時までの利用制限についても、自主事業の開催時間を早めており、特に影響はないとのこと。

**問** 町立保育園に加湿空気清浄機13台とおもちゃ殺菌庫1台を購入するが、各保育園への配分は。

**答** 加湿空気清浄機は、南保に5台、西保に3台、北保に5台を配備。昨年度も購入しており、各園の保育室1部屋に対し、概ね2台配備となる。おもちゃ殺菌庫は各園に1台配備済みだが、西保は園児数が多いため1台追加する。

**問** 県から休業や時短営業の要請がされているが、町内で全く従わない飲食店がある。町としての対応はどのようなか。

**答** 要請元である県の担当窓口へ直接連絡してもらったか、町に情報提供してもらえれば、こちらから県へ連絡する。



ワクチン集団接種会場の様子（中央公民館）



昨年度、各園に配備されたおもちゃ殺菌庫



**問** 健康文化センター、中央公民館、各児童センター等にフリーのWi-Fiを整備する予定だが、その運用はどのようなか。

**答** 特に制限を設ける考えはなく、フリースポットの協議会に加盟することで使用履歴の確認や、アクセス制限ができるの、ある程度のコントロールはできると考えている。

**問** パスワードなしでWi-Fiに接続できれば、建物外に電波が漏れていると深夜に若者が集まること懸念されるが、この点はいかがか。

**答** 内部での検討の際にも話題になっており、施設の開館時間以外は電源を落とす等の対策を検討しているところ。中央公民館に関しては、当面、常時接続状態としたいと考えている。

# 請願・陳情

6月定例会に提出された3件の請願と4件の陳情は、それぞれ所管の常任委員会で審査しました。

## 【請願】

無秩序で混沌とした教育組織によって旭川市でまた、生徒児童の命が犠牲になってしまった。いじめやハラスメントの調査もせず2年以上も放置している大口町教育委員会も他人事と考えている場合ではない。これ以上、生徒児童の命や人生・人権・尊厳が犠牲にならないよう早期に改善・対策を行うべく意見書の提出を求める請願書

(継続審査)

請願者

紹介議員

稲垣 学

吉田 正

## 【陳情】

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書

(採択)

陳情者

愛知県医療介護福祉

労働組合連合会

執行委員長 渡邊 一

大口町西小学校の「いじめ防止基本方針」は素晴らしい内容である。大口町西小学校の「いじめ防止基本方針」を「大口町いじめ防止基本方針」に正式採用し町内の小中学校に水平展開し、「大口町いじめの防止等に関する条例」で運用の遵守の取り決めの策定を求める請願

(継続審査)

「保育士の全面パート化につながる短時間勤務保育士の活用促進ではなく、保育所職員の配置基準改善、処遇向上のための必要な措置を求める意見書」提出を求める陳情書

陳情者

稲垣 学

(継続審査)

設置及び学校事故調査委員会の設置に関する請願書『の願意実現すべく大口町議会・大口町教育委員会への対応を求める請願書』

(聞き直し)

陳情者

愛知保育団体連合

協議会

会長 岩崎 八十子

ゼロカーボン達成に向けた取り組みの推進に関する陳情書

(採択)

陳情者

柿原 平

過去の請願・陳情の審査結果等はこちらをご覧ください。

<https://www.town.oguchi.lg.jp/2744.htm>

大口町ホームページ ⇒ 町議会 ⇒ 請願、陳情一覧



# 鈴木義彦元議員 追悼

鈴木義彦元議員（73）が、令和3年6月10日に逝去されました。

一身上の都合により、辞職された直後の事でした。町議会は、会議の開会前に黙とうを捧げ、哀悼の意を表しました。

ここに鈴木義彦元議員の在りし日の面影をしのび、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

大口町議会議員一同



## — 役職歴 — 平成

27年5月 町議会議員に初当選

28年5月 総務建設常任委員会副委員長

29年5月 文教福祉常任委員会副委員長

30年5月 議会広報常任委員会委員長

## 令和

元年5月 町議会議員（2期目）当選

文教福祉常任委員会委員長



議会広報常任委員会の視察研修で訪れた、群馬県玉村町議会にて熱心に説明を聞く鈴木義彦元議員（写真左側）

## 5月臨時会の概要

○町提出（4議案）いずれも全会一致

### ・議案

令和3年度大口町一般会計補正予算（第1号）【可決】

令和3年度大口町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）【可決】

令和3年度大口町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）【可決】

監査委員（議会選出）の選任について【同意】

# 町政を問う

9議員が書面で質問

ここが聞きたい!

大口町  
ホームページ  
「一般質問」



「一般質問」とは、行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

江口昌史	8050問題の本町の認識は …… P10 成年後見制度の活用 高齢者を守るため積極的な周知を
佐名かよ子	ヤングケアラー 認知度を高める取り組みを …… P11 デジタル化で窓口業務改善を
大竹伸一	新農業法人設立 農福連携を取り入れる考えは …… P12
伊藤 浩	大口町地球温暖化対策実行計画 最新版を出すべきと思うが …… P13 町の脱炭素ロードマップ いつまでに作成するつもりか
船戸光夫	動物愛護 動物虐待防止条例の制定を …… P14
近藤時男	小口城址公園 今後の「お堀」の在り方は …… P15
江幡満世志	住宅改修費助成事業 複数回の助成制度活用はできるのか …… P16 地域自治組織 取り組みを推進する上での課題は
岡 孝夫	町内企業と連携し、まちの課題解決を …… P17 改善に取り組む組織風土の醸成 業務改善発表会等の開催は
吉田 正	新型コロナの国保税減免 国の財政支援の変更はなぜか …… P18 学校行事の計画 行事予定に女性の視点を

## 追 跡

1年前の一般質問から

## あれから どうなった?

議会だよりでは、1年前の一般質問から2題を選び、あれからどうなったかを調査しました。

### 図書館再開時の感染防止対策は

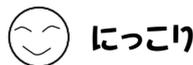
佐名かよ子

**問** 書籍を紫外線で殺菌し、衛生的に利用できるよう、書籍消毒機導入の考えは。

**答** 利用者から問い合わせもあるので、導入することで安心して利用してもらいたいと考えている。

令和2年8月に1回で6冊消毒できるものを1台購入した。約30秒で消毒できるため、子どもから高齢者まで幅広く利用されており、これまでのところ、1月あたり260回程度の利用がある。

### 質問者の満足度



にっこり

利用者から喜びの声も聞いているので、今後も利用者が安心して利用できる環境づくりを。

### 高校卒業まで医療費無料化を

江幡満世志

**問** 県内でも無料化の対象を拡大したり、その検討をする自治体が増加。本町も前向きに検討すべきではないか。

**答** 当面は現行のまま継続し、各種事業を見直す中で実現の可能性を探りながら、総合的な判断をしたい。

18歳到達年度末までの方(就労されている方を含む)を対象に、令和3年4月診療分から入院医療費(保険適用分)の助成を拡大した。

### 質問者の満足度



がんばれ

通院も含む医療費全般を助成するよう、福祉向上に一層の取り組みを願います。

こうなった

令和2年6月議会

# 8050問題の本町の認識は

## 部長 非常に解決が困難な問題と認識



令和3年6月定例会  
一般質問（江口議員）

**問** 8050問題について、本町の認識は。

**健康福祉部長** 子どもの長期間にわたるひきこもり状態を発端とし、そこに至った経緯や事情はそれぞれ異なるが、本人とその家族が、行き場のなさや孤立の中で日々葛藤していることは承知している。

介護、経済的不安、人間関係、家庭環境、就職、精神的な問題など様々な問題を複雑かつ複合的に抱えていることから、町としても、非常に解決が困難な問題と認識している。

**問** ひきこもりの相談窓口はどこ部署か。

**健康福祉部長** 福祉こども課が主たる窓口だが、他部署へ相談されるケースもある。関係部署で情報を共有し、必要があれば県の専門機関にもつないでいる。

また、本町における中高年の引きこもりの実態は、窓口だが、他部署へ相談されるケースもある。関係部署で情報を共有し、必要があれば県の専門機関にもつないでいる。

また、本町の実態として具体的な数字は把握していないが、国の推計値や過去の相談件数から判断すると、少なからずいるものと思われる。

**問** 8050問題に対する本町の支援策は。

**健康福祉部長** まずは、相談し、適切な機関へつなげていくことだと思っている。

**問** 専門的な知識やネットワークを持つNPO団体等との連携が必要であると考えるが、本町の考えは。

**健康福祉部長** 団体の活動内容を把握し、問題を抱える方々に情報提供することで、問題の解決につなげていきたい。

### 「8050問題」

65歳以上の親と仕事に就かず親の収入で生活する40歳以上の子が同居している世帯。

## 成年後見制度の活用

# 高齢者を守るため積極的周知を

## 部長 より一層周知し認知度を高めたい

**問** 近年、高齢者相手の契約トラブルが相次いでいる。未然に防ぐためにも、元気で判断できるうちに利用できるような成年後見制度を積極的に周知すべきでは。

**健康福祉部長** 地域の福祉関係者や民生委員が参加できる尾張北部権利擁護支援センターの研修会や、広報誌を通じて周知している。

令和元年12月に実施した調査では、制度を知らない方が4割を超え、権利擁護支援センターの認知度も極めて低い実態が判明したため、より一層の周知に努める。

**問** 制度の理解の促進や将来予測などを踏まえ、まずはニーズの把握が重要と考えるが、どのように進めていくのか。

**健康福祉部長** 人数等の把握は非常に難しいが、国の専門家会議等によると、世界標準で人口の1%以上のニーズがあると言われている。本町では240人程度のニーズがあると考えられるが、本町の制度利用者はその1割程度。

個別の支援を必要とする方の情報は、地域包括支援センターや社会福祉協議会、民生委員からの情報を整理し、尾張北部権利擁護支援センターと共有していく。



まずは相談を！



## ヤングケアラー

# 認知度を高める取り組みを

## 部長 認識を深めるための情報を提供

**問** ヤングケアラーの実態把握に努め、関係機関が認知度を高める取り組みはできないか。

**健康福祉部長**

実態は各小中学校が個別に把握しており、家庭環境等により家族の生活面のケアを担っている事例が、数件あると聞いている。

ヤングケアラー問題は、関係者が連携しなければ解決が困難だと認識を持つことが大切であると考えており、この認識を深めていただくための情報提供等に努めていきたい。

**問** 関係者間で情報共有を図り、適切な福祉サービス等を提供できるような取り組みはできないか。

**健康福祉部長**

国でも3年3月にプロジェクトチームが発足し、具体的な対策が議論され始めた。

国からの具体策を受け新たな対応を検討するところだが、当面は町内で事例が発生した場合には「要保護児童対策地域協議会」で対応し、各関係部署と連携して、その対象家族が支援を受けられるよう努めていく。



令和3年6月定例会  
一般質問(佐名議員)



当事者たちの実体験が綴られています

# デジタル化で窓口業務改善を

## 健康福祉部長 タブレット端末の活用で効果を検証

**問** 一つの窓口で手続き可能なワンストップサービスの推進や、窓口業務の改善の考えは。

**健康福祉部長**

本年5月から、書類の見直しで、小中学校の転入手続きは、戸籍保険課の窓口で対応できるようになった。

また、手続きのための庁舎間の移動を減らす改善策として、オンラインによる窓口対応ができるように、タブレット端末の設置を準備している。

**問** コロナ禍での窓口対応減少のためオンライン申請の利用拡大をすべきだが、その見解は。

**総務部長**

保育の申し込みや妊娠届など、各々の状況や事情を聞き、窓口できめ細やかな対応が必要なものもある。

今後、オンライン申請の利用拡大を進めていった場合でも、窓口で向かい合って対応する必要があるという認識でいる。

**問** デジタル格差が生じないための対策として、相談窓口の設置や、デジタル活用支援員の整備についての見解は。

**総務部長**

デジタル初心者向けの講座・教室は、民間事業者がパソコン教室等を展開しており、町内のNPO団体では、アプリの使い方講座も実施している。

町としては、現に有する資源が有効に活用されるよう案内等をしつつ、デジタル格差が生じないよう相談窓口の設置やデジタル活用支援員を含め、どういった対策を行うべきか、今後に向けて研究していきたい。



タブレットの活用で窓口業務の改善を

一般質問

佐名かよ子

# 新農業法人設立

## 農福連携を取り入れる考えは

### 部長 社会貢献的側面から考えていきたい



令和3年6月定例会  
一般質問(大竹議員)

**問** 町内の農地のうち休耕地・遊休地は何%か。また、今後、これらを活用する考えは。

**答** 認定農業者はもとより、個人農業者も高齢化・後継者不足で耕作者離れが多いが、町として助言や対策は考えているか。

**問** 障がい者や高齢者の健康維持管理等、住民の居場所づくりは農福連携を考慮した運用促進に寄与すると思うが、そういった新しい農業システムの考えは。

**まぢゅうり部長** 新たに設立する農業法人は、持続的な安定経営が確立するよう、まずは生産性、効率化を考慮するとともに付加価値のあるものを生産し、収益を上げる必要があると考えている。

**問** 業種を問わず事業所で自社で栽培し、販売する多角経営が広まっている。農地法に沿って進める考えは。

**まぢゅうり部長** 平成28年4月施行の改正農地法により「農業生産法人」が「農地所有適格法人」と呼称が変わり、本町でも要件を満たす新農業法人の設立に向けて取り組んでいるところ。将来的には、生産から加工、販売といった6次産業化、多角経営化も見据えて考えているが、立ち上げ当初はあれもこれもというのではなく、まずは地に足がつくような事業展開からスタートしていきたいと考えている。

**問** 新規事業を立ち上げる計画の中に、観光客を呼び込める事業展開を行う考えはあるか。

**まぢゅうり部長** 新たに設立する農業法人は、畑地を利用する事業計画も想定しているが、現状、畑地の水の問題が大きいと認識している。そこで、畑地かんがい設備がない畑地をどのように利用していくのかを考え、これが実現したあかつきには観光農園等の事業展開を検討するものと考えている。

そのため、現時点では観光客を呼び込める事業展開をすることは考えていない。

**まぢゅうり部長** 農林業センサスによると、耕地面積に対する遊休農地の割合は、愛知県の11・1%、全国の9・4%に比べ、本町は5・9%と低く、今すぐ取り組む必要はないと考えているが、今後は後継者不足等で増加が懸念されるため、考える必要があると認識している。

**まぢゅうり部長** 本町では、新規就農者に対し、補助制度や融資制度等の提案、助言等を行っている。当初予算に計上した、農業法人設立事業では、新たな農業の担い手を育成すべく、農業の魅力や経済的にも安定した農業も研究していきたい。

農福連携は、障がい者や高齢者の健康維持管理等に関わる事業として、社会貢献的な側面もあるもので、事業展開していく中で考えていきたい。



担い手がいないため耕作放棄地となってしまった畑

#### 本町の耕作放棄地面積の推移

調査年	耕地面積 (ha) A			耕作放棄地面積 (ha) B			割合 (%) B÷A		
	全国	愛知県	大口町	全国	愛知県	大口町	全国	愛知県	大口町
平成17年	4,692,000	84,000	547.0	385,791	8,911	27.0	8.2	10.6	4.9
22年	4,593,000	79,100	515.0	395,981	8,378	24.0	8.6	10.6	4.7
27年	4,496,000	76,900	502.0	423,064	8,513	29.0	9.4	11.1	5.9

【出典】農林水産省統計部公表 耕地及び作付面積統計・農林業センサス

# 大口町地球温暖化対策実行計画

## 最新版を出すべきと思うが

### 部長 令和5年度に見直し予定



温室効果ガス削減に伴う公共施設の設備更新計画概要

分類	対策内容
設備 改修	照明のLED化、高効率化
	熱源設備の高効率化
	空調システムの変更
	コージェネレーションシステムの導入
運用 改善	空調室内温度の緩和
	外気導入量の調整

大口町工コチャレンジ・プランより抜粋



令和3年6月定例会  
一般質問(伊藤議員)

**問** 温室効果ガスが増加し起こる地球温暖化問題の国際的な動き、COP21のパリ協定で採択された内容は。

**まちづくり部長** 先進国や途上国の壁をなくし、すべての国が参加する形で、世界共通の目標として、世界の平均気温上昇を産業革命から2℃未満にする(さらに、1.5℃に抑える努力をする)こととし、参加各国が目標を立てたうえで、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることが打ち出された。

**問** 仮称「家庭での省エネ実践のすすめ」を作成・印刷し、町内全ての家庭に配布できないか。

**まちづくり部長** 現在、地球温暖化や家庭の省エネ方法について、年に1回広報誌に掲載しているため、まずは、これを町ホームページに掲載し、常時見られるようにすることで啓発したいと考えている。

**問** 地球温暖化対策実行計画の作成時と今を比べると世界的な動きもかなり違ってきている。最新版を出すべきでは。

**まちづくり部長** 実行計画では実施した取組の効果を検証し、必要に応じて計画を見直す等、PDCAサイクルを基本に5年ごとの計画見直しを予定している。第3次の実行計画は5年度に見直ししたいと考えている。

## 町の脱炭素ロードマップ

# いつまでに作成するつもりか

## 部長 国の指針が示されてから策定

**問** 国の脱炭素ロードマップが2050年までに目指す社会像は何か。また、2018年度の電源構成の見直し内容は。

**まちづくり部長** 脱炭素のみならず地域課題を解決した持続可能でかつ強靱で活力ある地域社会(同時解決的視点)の実現を目指している。2018年度の電源構成は、再生可能エネルギー17%、原子力6%、石炭32%、天然ガス38%、石油7%だが、2030年度は、再生可能エネルギー22~24%程度、原子力20~22%程度、石炭26%程度、天然ガス27%程度、石油3%程度に見直し、大幅に再生可能エネルギーを増やす予定。

**問** 自動車業界はCO2排出削減のための自動車開発を急いでいるが、現在の開発状況は。

**まちづくり部長** 経済産業省主催の「カーボンニュートラルに向けた自動車政策検討会」によると、電動車の普及加速について、遅くとも2030年代半ばまでに、乗用車の新車販売で電動車100%を実現できるよう包括的な措置を講じるとしている。

**問** 大口町版の脱炭素ロードマップは、いつまでに作成するつもりか。

**まちづくり部長** 本町では、地球温暖化対策実行計画を策定しているため、まずは、この計画を遂行し、今後、国が目指す温室効果ガス排出実質ゼロの指針が示された場合に、それに合わせ大口町版の地域脱炭素ロードマップを策定したいと考えている。



町が所有する電気自動車

一般

質問

伊藤 浩

# 動物愛護

## 動物虐待防止条例の制定を

### まちづくり部長 法律に基づいて対応できる問題



令和3年6月定例会  
一般質問（船戸議員）

**問** 動物がよりよく生きるために、どのような責任を負う等、気づき、共感、責任についての教育はしているのか。

**生涯教育部長** 児童期から動物に関心をもち、親しみを持って接することで生命の尊厳について認識することは大変重要と考える。小学校では教科道德でかけがいのない自他の生命の尊重等を児童に伝えている。ご家庭においても、それ等についてお子様とお話ししていただければと考えている。

**問** 動物虐待は、1年以下の懲役、または100万円以下の罰金（法44条2）身勝手な行動は自治にも影響するが行政はこの問題をどう考えているか。

**問** 動物虐待防止条例の制定をと思うが。

地域住民にどう周知するのか。

**まちづくり部長** 法律に基づいて対応する問題であり、現在のところ条例を制定する必要性はないと考える。

**生涯教育部長** 平成24年に大町町の教育を考える会を発足。その中で大町町の教育に関する基本方針を策定。基本方針にある家庭、学校、地域の教育3本柱に基づいて子育てを進めている。学校教育法の理念等を周知できればと考えている。

**まちづくり部長** 動物愛護及び管理に関する法律に違反する行為と考えられるので法律に基づき対応する問題であると考えている。

動物虐待は、1年以下の懲役、または100万円以下の罰金（法44条2）身勝手な行動は自治にも影響するが行政はこの問題をどう考えているか。

**捨てないで!**

**動物を遺棄することは犯罪です**

動物を遺棄・虐待した場合は1年以下の懲役または100万円以下の罰金、殺傷した場合には5年以下の懲役または500万円以下の罰金に処せられます。

おおぐち議会 愛知県 愛知県警察 (公社) 愛知県獣医師会



## 小口城址公園

# 今後の「お堀」の在り方は

## 部長 今あるものを有効活用



令和3年6月定例会  
一般質問(近藤議員)

**問** 小口城址公園の「お堀」は、当初の設計では、どのような計画だったか。

**建設部長** 八つ橋の周りに花菖蒲を入れ、季節には目を楽しませる施設とする計画。

**問** 現在、当初の計画は維持できているか。

**建設部長** 完成当初の平成11年は、菖蒲は元気な状態だったが、14、15年頃に行った株分けで、2、3年経過したら株が痩せて生息できない状況になった。

その後、18、19年に入替をしたが、2、3年で株が痩せて生息できなくなり、26年頃にも入替えたが、同様に2、3年経過すると、株が痩せて生息できなくなった。

以降、土のまま、水を張ることもなく、現在の状況となっており、当初の計画は維持できていないのが現状。

**問** 現在の維持管理の方法は。

**建設部長** 草が生えるため、草刈りを地域の団体をお願いしている。

**問** 現在の維持管理で問題は生じていないか。

**建設部長** 管理していた体から、八つ橋等の構造物があり、草の管理が大変であるため、草が生えないように常時水を張れないかと要望をいただいている。

**問** 当初の計画を復活するためには、何が必要だと考えているか。

**建設部長** 既設シートの撤去、土の入れ替え、八つ橋の耐水化素材への変更、水の循環機能の回復等が挙げられるが、菖蒲を育てるために費用を掛けることは避けたいと考えている。

**問** 今後の「お堀」の在り方については、いつどのように決めていく考えか。

**建設部長** 様々な懸念事項があるが、工事を段階的に実施し、状況を見ながら進めていきたいと考えているので、結論を出すまでには、時間をいただきたい。

今回の意見を参考にし、今後、検討を重ねながら方針を示していきたいと考えている。

また、今あるものを有効活用し、その後の維持管理も考慮して進めたいと考えている。

### 用語解説「八つ橋」

池・小川などに、幅の狭い橋板を数枚、稲妻のような形につなぎかけた橋。8枚の板からなる三河の八橋に由来する。



現在の「お堀」の様子

## 住宅改修費助成事業

# 複数回の助成制度活用はできるのか

部長 上限に達するまで必要に応じ可能



令和3年6月定例会  
一般質問(江幡議員)

**問** 住宅改修費助成事業で見直した点は。

### 健康福祉部長

要支援・要介護認定を

受けた方が、居住する家屋の改修に必要な経費に対し、介護保険で利用できる20万円に加え、町独自で対象工事費50万円を上限にその2分の1を助成していた。

今年度からは、助成対象工事費の上限額を50万円から30万円に引き下げ、ユニットバスへの改修を対象工事から外した。

**問** 身体状態の変化で必要に応じて複数回の助成制度活用はできるのか。

**健康福祉部長** 介護保険制度の住宅改修は、対象工事費が20万円に達するまで、必要に応じ複数回申請できる。要介護状態が3段階以上重度化した場合や、対象者本人の転居により新たに住宅改修が必要になった場合は、再度20万円まで申請できる。

町独自の上乗せ分は1回限りだが、転居に伴う住宅改修を実施する場合は再度申請できる。



## 地域自治組織

# 取組みを推進する上での課題は

部長 将来への認識不足による危機感の薄さ

**問** 地域自治組織はなぜ必要か。

### 地域協働部長

平成23年11月に「大口

町まちづくりを考える会」から出された提案書では、地域自治組織設立の背景として、住民の行政への依存体質が高まったこと、ライフスタイルの変化により多様化する住民ニーズへの対応が困難になってきたこと、社会保障費の増加により各種行政サービス提供の維持が困難になってくることなどが挙げられている。

このような背景を踏まえ、課題解決のための提案とその決定権を持ち「地域で求めることは、地域で話し合って実行する」ための組織が必要であると提案された。

町としてもその必要性を認識し設立を支援してきたところ。

**問** 推進する上で課題は何か。

### 地域協働部長

地域自治組織が設立さ

れているのは、市町村合併で行政サービスが行き届きにくくなった過疎地域を抱える自治体に多い傾向にある。これらの自治体では、地域住民自らが地域の困りごとを解決していく取り組みをしなければ、生活自体に支障をきたすため、その危機感強い。

幸い本町はそのような自治体と比べて財政的には余裕があり、実感として生活自体に支障をきたすような状況にはない。

このことが職員を含め住民の皆さんの危機感を薄くさせ、この地域の取組みを推進していく上での最大の課題と感じている。

今後は、様々な統計データを使い、将来訪れるであろう「地域」の状況を地域の方々と共にしながら地域自治の必要性を訴えていきたい。



# 町内企業と連携し、まちの課題解決を 部長「協議の場」の創設を検討

**問** 町内企業等とは互いに顔の見える関係性が不可欠では。現状はどのようなか。

**総務部長**

昨年からの新型コロナウイルス感染症対策では、多くの企業から寄付の申し出と併せ、協力の申し出を頂いた。

それらの調整をきっかけに、話が発展し、災害協定を結ぶに至った企業もある。

こうしたことは、個々の職員が、日々の業務の中で、企業との関係性を深めてきた事例の一つではないかと思われる。

本町が目指す「まちづくり」は、多様な担い手と、協働・連携して進めるもので、この取組みを進める上で、気軽に連絡や相談ができる関係性、いわゆる「顔の見える関

係性」を築くことは、非常に重要なことと考えている。

**問**

役所が抱えている様々な課題解決に向け、町内企業等との協議の場を設定し、双方の強みを生かしながら、連携を進めてはどうか。

**総務部長**

第7次大口町総合計画のまちづくりの基本理念に基づき、将来世代に負担を残すことなく、未来に責任を持つために、まちづくりの多様な担い手による協働・連携を通じ、活力のある、まちの未来を切り拓いていく必要があると考える。

現場の業務を担う担当者同士の顔が見え、お互いが気軽に連絡や相談ができる関係性を築くことができるよう、包括連携協定締結に関わらず、まちの課題解決に向け、町内企業との連携について、「協議の場」の創設を検討する。

## 改善に取り組み組織風土の醸成

## 業務改善発表会等の開催は

## 部長 他市町を参考に効果的な「場」を検討

**問**

おかしいと思うことをおかしいと思う人間が解決していく。この当事者意識こそが、信頼され活気ある役所づくりには欠かせないと考えますか。

**総務部長**

「指摘のとおりに現場に近い職員が、最も住民の声を耳にするので、それらを集約しながら、課題を認識し、改善策を模索し、解決行動に移していく、この一連の流れが大切だと思う。

また、自発的に職員が改善をしやすい環境を整えてあげることが、組織としては重要なことだと考えている。

**問**

「大口町職員の創意工夫提案に関する要綱」を見直すと共に、職員間の情報共有・相互研修のために改善発表会等を開催すべきでは。

**総務部長**

要綱は、その目的や意義等を見直し、再考する。日ごろから業務改善に意識を向けることで、総体的には小さな改善も、

その積み重ねが大きな改善になり、住民サービスの向上や、職員自身の「働き方改革」にもつながると考えている。

現在は、その改善成果が広く「見える化」される仕組みがないので、他市町の業務改善発表会等を参考にしながら、どのような方法が効果的な「場」となるのかを検討したい。



令和3年6月定例会  
一般質問(岡議員)



改善発表会で、情報共有・相互研鑽を

# 新型コロナの国保税減免

## 国の財政支援の変更はなぜか

### 部長 災害に対する特例は原則1年



令和3年6月定例会  
一般質問(吉田議員)

**問** 新型コロナウイルス感染症による減収に伴う国保税の減免制度、

国の財政支援は令和2年度は全額だったが、3年度は全額でなくなるのはなぜか。

**健康福祉部長** 国が全額補助を見直す

のは、東日本大震災に伴う福島第一原発事故による影響を除き、災害に対する特例的な全額補助は1年間としている例が多いこと等を踏まえているとのこと。

**問** 国の財政支援の変更による影響は、どの程度になると見込んでいるのか。

**健康福祉部長** 現時点で、3年度の減免総額が、どの程度になるか不明だが、交付基準で試算すると、特別調整交付金による補助割合は10分の4になると想定している。

したがって、特別調整交付金を除く6割分は、町の国保税により予算措置する必要があるので、財政調整基金により対応する方向で考えている。

**問** 減免基準は3年の収入減少を2年の収入と比較。2年度に減免制度を活用した人は、そこからさらに3割減収しないと対象にならない。コロナの影響がなかった元年と比較しないと救済にならないのではないのか。

**健康福祉部長** 新型コロナの影響でさらに収入が減少し、減免基準に該当する世帯は、引き続き特例措置で減免される。

所得の低い世帯は、所得に応じた国の軽減制度があり、本町も条例等で前年より所得が著しく減り、納付が困難な場合は減免規定を設けているので、こうした制度で対応する。

## 学校行事の計画

# 行事予定に女性の視点を

## 部長 行事計画は様々な工夫をしている



**問** 行事予定に女性の視点も取り入れていくことは大切なこと。近隣市町の計画状況を確認することも必要ではないか。

**生涯教育部長**

小中学校では、年間の行事計画を組む際に様々な工夫をしている。

P.T.A総会、学年・学級懇談会、学校公開、保護者会、運動会・体育大会、学習発表会、合唱コンクールなど様々な行事があるが、学校公開は、2時間の公開や、午前と午後の両方を設定するなど、より参加しやすい環境づくりに工夫を凝らしている。

これらはいずれも、男性女性を問わず、保護者や地域の皆様方に、より学校運営に関わって頂けるよう、試行錯誤しながら配慮していることによるもの。

しかし、その一方で、学校及び学級運営や時季等を考えると、各種行事を設定可能な日はかなり限られているのが現状。

# 令和2年度 政務活動費 収支報告

政務活動費は、地方議会の議員に調査研究等の活動のために交付される費用で、大口町議会では実費後払い方式により各議員に年間6万円を限度に交付しています。

政務活動費の適正な使用と使途の透明性を高めるため、議員の責務、議長の調査権、情報公開の規定等を条例で定めています。

## 各議員の政務活動費の使いみち(令和2年4月～3年3月)

単位：円

氏名	支出額	支出内訳		支出内容	交付額
吉田 正	24,000	資料購入費	24,000	「住民と自治」誌代、商工新聞、平和新聞ほか	24,000
江幡満世志	19,876	資料購入費	19,876	「資本論」第1巻～第10巻	19,876
佐名かよ子	8,550	研修費	8,550	研修参加「地方財政制度の基本と自治体財政」	8,550
近藤時男	0	—	—	—	0
江口昌史	0	—	—	—	0
船戸光夫	0	—	—	—	0
酒井正宗	38,470	研修費	38,470	セミナー参加「適正な議員定数・議員報酬の決定手法を考える」	38,470
岡 孝夫	19,822	資料購入費	1,782	書籍購入「なぜ、彼らは「お役所仕事」を変えられたのか？」 文書通信費 モバイルWi-Fiルーター利用料	19,822
		事務費	18,040		
鈴木義彦	0	—	—	—	0
大竹伸一	0	—	—	—	0
伊藤 浩	0	—	—	—	0
丹羽 孝	0	—	—	—	0
丹羽 勉	0	—	—	—	0
齊木一三	0	—	—	—	0
倉知敏美	0	—	—	—	0
合 計					110,718

○ 各議員の使途詳細等は、議会のホームページに掲載しています。

<https://www.town.oguchi.lg.jp/4580.htm>

大口町議会 政務活動費 検索



# まちかどインタビュー

## ～大口町に期待することは?～

まちかどインタビューでは、毎号2人の住民の方から「大口町に期待すること」について一言を書いていただき、その思い（または理由）を伺います。その内容については、住民の声として今後の議会活動の参考にいたします。



コロナ禍でも「がん検診」は大事とされています。そのためにも、安価で手軽に受診できる集団がん検診の日数を増やしてほしいです。

(Sさん 秋田地区)



子どもや高齢者、障がいのある方等、社会的に弱い立場の人たちの声がすぐに届く身近な窓口があるといいと思います。

(Aさん さつきヶ丘地区)

### 表紙の写真

柿野橋の架け替えが完了し、渡り初め式が行われました。テープカット終了後、この橋を通学路とする大口北小学校の児童たちが元気に通学する姿を見せてくれました。

### 会議録が閲覧できます

<https://www.town.oguchi.lg.jp/2741.htm>



### 9月定例会予定

- 1日(水) 提案説明
- 6日(月) 一般質問
- 7日(火) 一般質問
- 9日(木) 質疑
- 10日(金) 質疑・委員会付託
- 14日(火) 総務建設常任委員会
- 16日(木) 文教福祉常任委員会
- 27日(月) 討論・採決

※日程は、変更になる場合があります。

### 9月定例会の傍聴について ※委員会を除く

新型コロナウイルス感染予防のため傍聴をご遠慮いただく可能性があります。その際は、Youtubeの大口町議会公式チャンネルにて生中継を行います（※町ホームページ⇒町議会⇒お知らせ）。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



丹羽 孝一	大江 史子	佐名 昌	江幡 世志	船戸 光夫	岡孝 勉	丹羽 勉
議会広聴広報常任委員会						発行責任者